NOVA jr.Plus+ 補足取扱説明書

ご使用前に本書と別冊「NOVA jr.Plus+」取扱説明書」を必ずお読みになり、十分に理解された上でお使いください。また、本書はいつでもご覧いただける場所に大切に保管し、利用者の身体状況・環境の変化に応じて再読してください。

使用目的 特徴

本製品は手動式車いすで、一人乗り用です。これに搭乗しての移動と、休息を目的としています。

本製品は、使用者がハンドリムを操作して駆動する手動式の自走用標準型車いすです。
日常生活用に設計されており、特殊な使用目的(スポーツ・入浴など)のものではありません。

はじめに

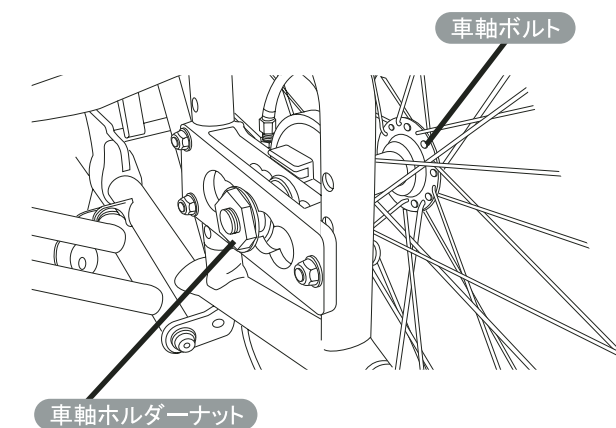
本製品は標準機能のほかに、必要に応じてお選びいただけるオプション機能があります。機種ごとに装備内容内容が異なりますので、ご注意ください。

各部の調節のしかた

後車輪の前後位置を調節する(固定車輪の場合)

電動ユニット装着の場合は、後車輪の前後位置の調節は不可になります。

使用する工具 19mmスパナ モンキースパナ

1
①車軸ボルトをスパナ(19mm)で固定します。
②車軸ホルダーナット(27mm)をモンキースパナで緩めて取外します。
③車輪を引き抜きます。

2
ドラムブレーキ(装着の場合)、スリーブ、固定軸用スリーブを取外します。
※ NOVA jr.Plus+取扱説明書8ページ に記載されたドラムブレーキ装着車の場合から仕様変更しております。

3
車軸ブラケットの任意の位置にスリーブ、固定軸用スリーブをセットします。

4
①車軸にドラムブレーキをセットします。(装着の場合)
②車軸ホルダスリーブに差し込みます。
※ドラムブレーキスペーサーの爪が車軸ブラケットのレールに引っかかるようにセットします。

次のページに続きます

転倒防止バー 格納式

段差を越える際に転倒防止バーがじゃまにならないように、内側にたたむことができます。
座面高、使用者の身体状況にあわせて転倒防止バーの高さを調節することができます。

⚠注意
- 操作は、必ず両輪の駐車用ブレーキをかけ、平坦な場所で行なってください。
- 転倒防止バーは左右とも同じ高さに調節してください。
- 座面の高さおよび駆動輪・主輪の前後位置を変えたときは、必ず転倒防止バーの高さ調整を行なってください。

格納のしかた

ロック解除ペダルを踏み込みながら、内側前方に向かって回転させます。

展開のしかた

①転倒防止バーのロック解除ペダルを踏み込みます。
②内側後方に向かって回転させます。
※転倒防止バーがロックされているか、ご確認ください。

高さ調節のしかた

高さ調節用穴(2箇所)を使用して調節します。

使用する工具 4mm六角レンチ 5mmスパナ

1
①ボルトを六角レンチ(4mm)で固定します。
②スパナ(5mm)でナットを取外します。

2
①車輪部を上下にスライドさせます。
②適正な位置に調節します。

3
① **1** で取外したボルトとナットを取付けます。
②反対側も同じ高さに調節します。
※転倒防止バーの車輪が駆動輪・主輪より後方に位置するように調整してください。

転倒防止バー 可倒式

段差を越える際に転倒防止バーのロックを解除して、そのまま前輪を浮かせることができます。
座面高、使用者の身体状況にあわせて転倒防止バーの高さを調節することができます。

注意
- 操作は、必ず両輪の駐車用ブレーキをかけ、平坦な場所で行なってください。
- 転倒防止バーは左右とも同じ高さに調節してください。
- 座面の高さおよび駆動輪・主輪の前後位置を変えたときは、必ず転倒防止バーの高さ調整を行なってください。

使い方

ロックレバーを引き起こして、転倒防止バーのロックを解除します。
そのまま、キャスターを浮かせて、段差を乗り越えます。

転倒防止バーを戻すときは、ロックレバーを倒した状態で、
カチッと音がするまで転倒防止バーを押し込み、ロックさせます。
転倒防止バーが、確実にロックされているか、手で触って確認してください。

高さ調整のしかた

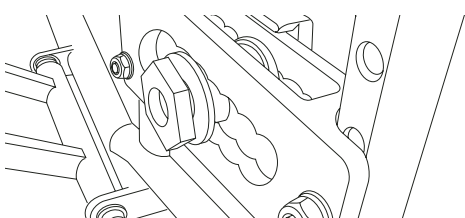
ロックピンを指先で押し込みながら、転倒防止バーの高さが適正な位置になる穴位置に調節してください。
ロックピンがバネ力で戻り、確実にロックされているか、手で触って確認してください。

製造元

株式会社 ミ キ
〒457-0863 名古屋市南区豊三丁目38番10号

1111-001

各部の調節のしかた（つづき）

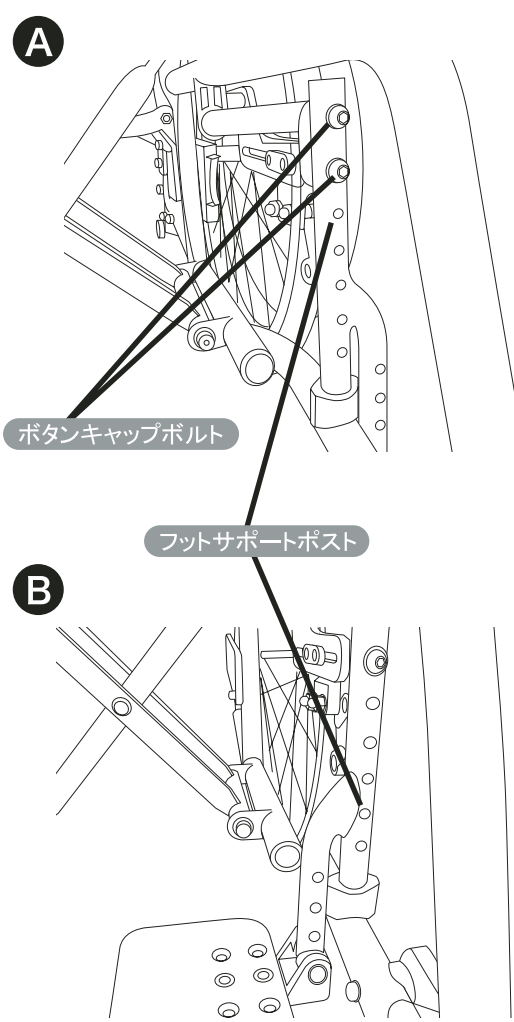
5 皿バネ、車軸ホルダーナットを仮止めします。

6 ①車軸ボルトをスパナ（19mm）で固定します。
②車軸ホルダーナットをモンキースパナで締付けて固定します。

7 反対側も同様に行います。
※次に駐車ブレーキを調節してください。
（NOVA jr.Plus⁺取扱説明書7ページ参照）

ステップの位置調整

ワイドフットサポートの場合

使用者にあわせて、ステップの高さと取付位置を適切に調節してください。
調整後にステップがしっかり固定されていることを確認してください。

設定位置によってフットサポートポストを左右で組み替える必要があります。
下の表を参考にして、設定したいフットサポート高により、Ⓐパターンもしくは Ⓑパターンにフットサポートポストを組み替えてください。

フットサポートポストの左右組み替えのしかた

使用する工具 4mm六角レンチ 10mmスパナ

1 両側計4カ所のボタンキャップボルトを六角レンチなどを使って取り外します。

2 ①両側のフットサポートポストを取り外し、左右を入れ替えてくみつけます。
②ボタンキャップボルトを六角レンチなどで締め込み、フットサポートポストを固定します。

3 適合する任意の位置にフットプレートをとりつけます。

フットプレートが重なり合わないように左右方向の位置を微調整してください。

フットサポートポストの向き	フットサポート長
Ⓐ	130/150/170/190/210
Ⓑ	230/250/270/290

高さ調節、ステップの取付位置調節は NOVA jr.Plus取扱説明書10ページ の要領でおこなってください。

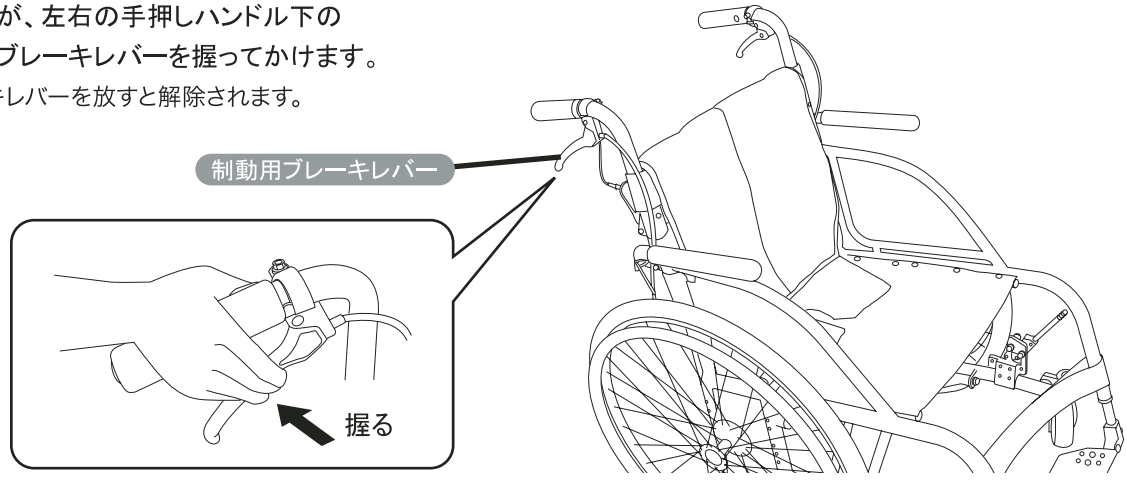
オプションのつかいかた

本製品には、オプション部品を多数用意しております。
オプション部品は本製品のご注文時に、必要に応じてお選びいただけますので、お客様ごとに装備内容が異なります。ご自分の車いすに装備されたオプション部品をご確認の上、必要な個所をお読みください。

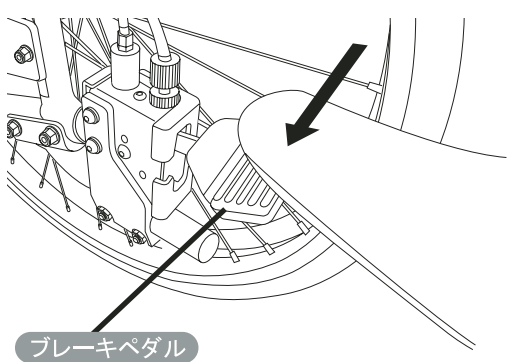
介助ブレーキ

⚠危険
- 過度なスピードは出さないでください。
  スピードが出ているときに急カーブを走行したり、急ブレーキをかけたりすると、転倒して事故やけがにつながる恐れがあります。
- 急な下り坂で介助するときは、後ろ向きにゆっくり降りてください。
  また、制動用ブレーキを使いスピードを落としてください。

⚠警告
ブレーキをかける場合は、介助者がブレーキレバーを左右同時に握ってください。
転倒して事故やけがにつながる恐れがあります。

介助者が、左右の手押しハンドル下の
制動用ブレーキレバーを握ってかけます。
ブレーキレバーを放すと解除されます。

⚠注意
ブレーキワイヤーは、安全のため定期的に交換してください。（交換の目安：1年に1度）

フットブレーキ

⚠注意
- ブレーキ点検は定期的に行なってください。
- ワイヤーの交換は、安全のため定期的に交換してください。（交換の目安：1年に1度）
- 車いすを駐車するときは、水平で平坦な場所に駐車してください。坂道等の傾斜のある場所では、本ブレーキを使用しても車いすが動く場合があり、転倒などの事故につながる恐れがあります。
- ブレーキペダルは、必ず真上から上方へ向かって踏み込んでください。
  斜め方向や下側から上方へ向かって力を加えると、故障や破損につながるおそれがあります。

ブレーキのかけかた

左右のブレーキペダルをカチッという音がするまで踏み込みます。
※車いすが動かないか確認してください。

ブレーキの解除のしかた

ブレーキがかかった状態で左右のブレーキペダルをカチッという音がするまで踏み込みます。
※車いすを動かして、両側のブレーキが解除されたことを確認してください。